

TradeWaltz®と当社貨物保険システムの連携開始について

東京海上日動火災保険株式会社(取締役社長 広瀬 伸一、以下「当社」)は、貿易業務におけるDXを推進するために、当社が出資する株式会社トレードワルツが運営する貿易プラットフォーム「TradeWaltz®」と連動した、貨物保険の申し込みや保険証券の発行に関する新しいサービスを開始いたしましたので、お知らせいたします。

1. 背景

貿易業務に付随する手作業での書類作成や整合性の確認作業等には、多大なロードやコストがかかっており、貿易業務におけるDX推進は業務効率化に向けた課題の一つとなっております。

従来より、輸出入貨物にかかる外航貨物海上保険のお申し込みに際しては、インボイス(商業送り状)や運送書類などをもとに、お客様ご自身が保険のお申し込みに必要な情報を当社システムなどに転記のうえ当社に送信いただいています。その後、当社はお申し込みいただいた情報をもとに発行した保険証券を、紙やPDFの形態でお客様にお届けしております。

今般、当社は株式会社トレードワルツと協力して、同社が運営する貿易情報連携プラットフォーム「TradeWaltz®」と当社システムを相互に連動するシステムを開発します。これにより、当社は保険証券をデジタルデータとしてお客様にお送りすることができるようになる他、年内にはお客様の保険お申し込みに必要な情報の入力を省力化することも可能とする予定です。

2. 本サービスの概要

(1) 保険証券のデジタルデータ化(2023年8月から)

- 当社システムをTradeWaltz®と連動させることで、現在紙またはPDFでお送りしている保険証券をデジタルデータ化し、TradeWaltz®上でのお客様への提供を2023年8月より開始しました。
- お客様が保険証券情報をデータとして取得することで、従来発生していたアナログな事務作業の削減が可能となり、お客様の業務削減・生産性向上に寄与します。例えば、銀行がTradeWaltz®と連携している前提ではありますが、保険証券への裏書き※¹や銀行買取のための証券送付※²といった作業を大幅に省力化することができますようになります。
- また、デビットノート※³もデータ化されるので、税関へのデビットノートのアナログ送付や税務調査に備えた書類保管なども不要となることが今後想定されます(TradeWaltz®上で電子帳簿保存法対応データとして格納されることが予定されています)。

※¹: 貨物保険証券は売主から買主に国際間で銀行を介して譲渡が行われ、その際に保険証券の裏面に署名をして証券上の権利を他の人に譲渡します。その署名行為を「裏書き」と言います。

※²: 銀行が発行する信用状(銀行が介在することで売主・買主の双方の決済にかかるリスクを減少させる代金決済方法)に基づく国際物品売買においては、売主は銀行から貨物保険の手配と保険証券の提出が求められます。売主が銀行へ保険証券を含む書類一式を持ち込み、引き換えに代金を受け取ることを「銀行買取」と言います。

※³: 貨物保険における保険料請求書のことで、輸入通関時に税関に提出される書類の一つとなります。

(2) 貿易関連情報のデータ連動による保険申し込み事務省略化(2023年12月頃から)

- 当社お客様がTradeWaltz®を利用すると、TradeWaltz®上にあるデータ化されたインボイス(商業送り状)や運送書類といった貿易関連情報が、保険申し込み用のデータとしてTradeWaltz®から当社システムに自動で連動します。
- それにより、お客様自身で保険申し込みの際に必要な情報の転記が不要となり、お客様の業務削減・生産性向上に寄与します。本機能は2023年12月頃のサービスインを予定しております。

3. 貿易 DX のための当社の取り組みについて

貨物保険の証券は国際的に流通するものであり、日本国内の貿易事務のデジタル化のみならず一つでも多くの貿易相手国でもさらなる利便性向上に必要不可欠となります。

そのため、当社は世界各国でその普及を目的とした提唱活動を行ってきている他、わが国の保険証券データの基準を国際標準とするための活動を国際連合や国際商業会議所においても実施しております。

当社は、今後もデジタル化によるお客様の利便の向上のために、国際的な活動を続けてまいります。

<株式会社トレードワルツの概要>

企業名	株式会社トレードワルツ
代表者	代表取締役社長 小島 裕久
所在地	東京都千代田区霞が関 3 丁目 2 番 5 号 霞が関ビルディング 36 階 WORKSTYLING
設立年月	2020 年 4 月 1 日
事業内容	ブロックチェーンを活用した貿易情報連携プラットフォーム「TradeWaltz®」の SaaS 提供
URL	https://www.tradewaltz.com

<ご参考: 株式会社トレードワルツと当社との関係>

2016 年に当社と株式会社 NTT データは、L/C(信用状)、B/L(船荷証券)、インボイス(商業送り状)、保険証券のデータをブロックチェーン上でデータ化し、権利移転ができるかという実証実験を行い、貿易手続きにおける有効性を確認しました^{※4}。

実証実験の後、商社、海運、銀行、保険の 13 社による貿易コンソーシアムが結成され、より実務的な実証実験を行い、NTT データ社を中心に複数の会社が出資して 2020 年にトレードワルツ社が設立されました^{※5}。当社はトレードワルツ社の設立時から、開発・営業・導入支援のメンバーの出向や、取締役派遣による協力も行ってきております。

※4: 2017 年 4 月 24 日ニュースリリース「保険証券へのブロックチェーン技術適用に関する実証実験の完了」
https://www.tokiomarine-nichido.co.jp/company/release/170424_01.html

※5: 2020 年 10 月 27 日ニュースリリース「貿易プラットフォーム「TradeWaltz®」の運営会社に業界横断7社で出資」
https://www.tokiomarine-nichido.co.jp/company/release/pdf/201027_01.pdf

以上